



エックス線撮影についてのお願い

1. 撮影時の服装について



エックス線写真に写りこんでしまう可能性のあるもの

金属・プラスチック製装飾品（ボタン、チャック、厚手の刺繍、髪結ゴムなど）
股関節付近の撮影では尿等オムツに汚れが多くありますと画像の鮮明さに影響が出ることもあります。



撮影前に、担当の技師から着衣についてお尋ねさせていただくことがあります。

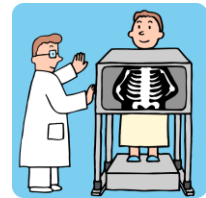
また、服装によっては脱衣や検査衣等の着替えをお願いすることがあります。

2. 撮影時の介助



不安なく安全に（医師の指示どおりに）検査を受けていただくために、撮影技師が介助いたします。十分な体位がとれない時は、依頼医師に相談の上で変更して撮影を行うこともあります。

ご要望がありましたら何なりと申し付けください。



3. 撮影時被ばくについて

臨床的に放射線を被ばくしても、何ら障害の症状が現れない線量は200ミリシーベルト（全身に一度に受ける量）です。

実際の検査を行った時の被ばく量は、

例）胸部1回 0.06～0.14ミリシーベルト

胸部CT 7.0ミリシーベルト

エックス線検査の場合、検査する部位（胸部・骨の部分など）は限られた部分だけの局所被ばくなので、使用する線量は問題にならないくらい少ない量です。

安心をして検査をお受けください。

